



# 本日、卒業証書授与式

## 総合学科10期164名

つながろう三高!! 卒業しても

# 卒業写真



MITOYA

島根三刀屋  
県立高校

# 蒼雲

学校だより  
第104号



# 祝

卒業写真のおのひとは〜

明日から新しいページが開きます

# Goal!

# スタ!

## 私たちに続け! 未来の三高生

※平成27年度の全校生徒の出身中学は22校でした!

見えにくいですか?



見えますか?? 見えていますか??? あなたとつながる社会&あなたの考え

三刀屋高校総合学科での学びが、あなたの視野を広げます!

公職選挙法改正 地球温暖化 少子高齢化 格差社会  
 年金 政局 消費税増徴 特殊詐欺 PM2.5  
**大震災5年**  
 成長戦略 TPP 辺野古 伊豆半島 伊豆諸島 伊豆諸島 伊豆諸島  
 積極的平和主義 I S 伊豆半島 伊豆諸島 伊豆諸島 伊豆諸島  
 地方分権 伊豆半島 伊豆諸島 伊豆諸島 伊豆諸島 伊豆諸島 伊豆諸島 伊豆諸島 伊豆諸島 伊豆諸島

社会を見つめ、自ら判断して投じる18歳からの一票に期待します

夢を語ろう三高で!

君の夢を叶える

島根全県区の三刀屋高校です

つながろう三高・つながろう雲南

雲南市報2月号によると、今年の正月2日に「30歳の成人式in雲南市」が開催され、雲南市出身者や雲南市在住者約120名が参加されたとのこと。実行委員長の江角貴勤さん(平成16年3月本校卒、雲南消防署勤務)は、「雲南市に住んでいても、離れて暮らしていても、どこか懐かしく、そしていつも温かく繋がっていると感じる事ができる『人と人の繋がり』を、同級生という一番強力な『縁』を中心に広げてもらいたい」と述べられました。この言葉をそのまま、本日卒業する皆さんへ贈らせていただきます。



受験を残している皆さんにも  
もう少しでサクラ咲く季節の到来です!



- 卒業証書授与式
- 一、互礼
  - 一、開式の辞
  - 一、国歌斉唱
  - 一、卒業証書授与
  - 一、校長式辞
  - 一、来賓祝辞
  - 一、来賓紹介、祝詞・祝電披露
  - 一、在校生代表送辞
  - 一、卒業生代表答辞
  - 一、校歌斉唱
  - 一、閉式の辞
  - 一、互礼

卒業生代表答辞と校長式辞は次号に掲載予定

# 高校第68回



## 昨日は同窓会入会式も

### 25名が3箇年皆勤者表彰



学年主任 多田 昌導  
(PTA会報より転載)

「学び続けることの大切さ」

本日の卒業式に先立ち、昨日の午後には同窓会入会式が執り行われ、164名が新たに「雲南会」の仲間入りを果たした。昭和4年3月11日に最初の卒業生を送り出して以来、会員延数は1万6千名を超える。

### 生徒会記念品授与 皆勤者表彰も

また、同窓会入会式を前に、生徒会からも記念品(印鑑)が贈られたほか、左記の各種表彰が行われた。

#### 各種表彰

- ▽総合学科優秀者表彰 宮田寛子
- ▽高体連表彰 渡部ほのか
- ▽高野連表彰 (女子ソフトボール) 曾田望(野球)
- ▽吹奏楽連盟表彰 佐藤華(吹奏楽)
- ▽3箇年皆勤賞 25名
- ▽1箇年皆勤賞 39名

## 第3学年担任

- 1組 (25名) 多田昌導 (英語)
- 2組 (26名) 持田 徹 (数学)
- 3組 (38名) 竹崎朱美 (英語)
- 4組 (38名) 登城千加 (国語)
- 5組 (37名) 柿田純子 (数学)

### 卒業前の特別講座

出校日に開催

- ①薬物乱用防止教室 雲南警察署
- ②租税教室 大東税務署
- ③法律教室 島根県司法書士会
- ④人権・同和教育講話 源氏蛸の会  
代表 三浦成人氏

### 平成27年度 進路決定者数 (2月19日現在)

就 職	進 学									
	公務員	合計	大学		短大		専門学校		その他	合計
			国公立	私立	公立	私立	医療	他		
民間	4	31	11	31	6	12	12	13	3	88

国公立大学一般入試の合格発表はこれからです。

ことです。164名の卒業生に対して、31名が就職します。これは全体の約19%に相当する数です。多くの卒業生達が、変化の激しい現代社会で、いち早く職を得て自立してこの社会で生きていくという姿勢に頼もしさを感じると共に、今後の20年間で人工知能等の導入によって、労働環境が大きく変わることを予想される以上、就職後も自らの技能を高めた知識を蓄えるために、絶えず学び続ける姿勢が大切であると感じます。

という格差社会となった日本。都会では教育の現場にも、市場原理主義の波が押し寄せ、その結果、学校は教育という「商品」の売り手となり、保護者は「消費者」として授業料という「対価」を支払って、それを手に入れるという考え方が広がってきているようです。そのため、商取引の「消費者」が、「最低の代価で、最高の商品」を求めるように、学校で学ぶ子供たちも「最低の学習努力で、最高の進路結果を手に入れる」ことだけを考えるようになっていくと危惧する知識人(2)もいます。そのような状況下でも、三刀屋高校では、自らの進路を実現するために最後まで努力を惜しまず、学び続ける生徒たちが多いのは、本校独自のキャリア教育の賜物だと感じます。それぞれの進学先で一杯の学びを実践し、地元へ貢献できる逸材となっていく日を楽しみにしています。

- (1) 野村総合研究所(2015)、「日本の労働人口の49%が人工知能やロボット等で代替可能に」  
[https://www.nri.com/~media/PDF/jp/news/2015/151202\\_1.pdf](https://www.nri.com/~media/PDF/jp/news/2015/151202_1.pdf)
- (2) 内田 樹(2005)、「先生はえらい」ちくまプリマー新書

▼お断り  
今号の原稿締め切りを2月19日としたため、昨日の同窓会入会式等の記事は、あくまで予定の動きです。実際には内容に変動の可能性があったことをご了承下さい。

もっと広い世界が見える新たな頂を目指して  
旅立ちの時を迎えました



いくつもの山を乗り越えた三高ロード



平成25年4月9日(火)入学式直後の対面式

### あの日から3年

	三高での3ヶ年(2013.4.9~2016.3.2)	担任
平成25年度 (2013年度)	校長：岩井元康 教頭：角英樹 入学式・対面式 フレッシュマンセミナー 第51回島根県高校総体男女総合Aグループ18位 三高祭「To The Top」 ～創造せよ 爽やかなる風 あの日を目指して～ インターンシップ	主任 長廻 1組 矢野 2組 林奈 3組 岡田 4組 森脇崇 5組 長廻
平成26年度 (2014年度)	校長：恩田佳雄 教頭：新宮成浩 遠足：蒜山高原センター 第52回島根県高校総体男女総合Aグループ20位 三高祭「Golden memories 愉快活発 ～胸にきざめ 90年目の轍～ 創立90周年記念式典(10月4日) 東京研修3泊4日 後期生徒会長：上田航平	主任 多田 1組 柿田 2組 田中大 3組 竹崎 4組 登城 5組 多田
平成27年度 (2015年度)	校長：恩田佳雄 教頭：新宮成浩 前期生徒会長：勝部聡 遠足：広島平和公園 第53回島根県高校総体男女総合Aグループ24位 三高祭「Our story now begins」 ～駆け抜ける！主人公は君だ～ 昨日、同窓会入会式 本日、卒業証書授与式	主任 多田 1組 多田 2組 持田 3組 竹崎 4組 登城 5組 柿田

# 胸に刻む18年

保護者の皆様にとって  
は子育ての18年間。  
一つの区切りとして、  
お子様のご卒業おめでとう  
ございます。

## 卒業生が生まれた頃

### 【1997(平成9)年度】

- 通年 NHK大河ドラマ『毛利元就』 オムツの頃
- ポケモンブーム たまごっちブーム
- 日本版金融ビッグバン
- ダイオキシン問題が一般にも急速に認知された年
- 4月 古代出雲文化展スタート(東京～島根～大阪)  
消費税5%に ペルー日本大使館人質解放
- 7月 香港をイギリスから中国へ返還 アジア通貨危機へ  
映画「もののけ姫」劇場公開
- 8月 イギリスのダイアナ皇太子妃事故死
- 9月 第2次橋本改造内閣発足
- 10月 長野新幹線高崎駅-長野駅間が開業 臓器移植法施行
- 11月 山一証券破綻
- 12月 地球温暖化防止京都議 介護保険法公布  
レコード大賞 CAN YOU CELEBRATE? (安室奈美恵)
- 1月 SMAPシングル「夜空ノムコウ」リリース
- 2月 郵便番号の7桁化 長野オリンピック開幕

- 平成15年度 三刀屋木次IC - 宍道JCT間が開通
- 16年度 小学校入学 三刀屋高校総合学科1期生入学  
雲南市誕生 アテネ五輪
- 17年度 2年 郵政民営化法案可決
- 18年度 3年 教育基本法改正
- 19年度 4年 石見銀山遺跡の世界遺産登録
- 20年度 5年 加茂岩倉遺跡の銅鐸国宝に  
米国リーマン・ブラザーズ破綻 北京五輪
- 21年度 6年 新型インフルエンザ流行
- 22年度 中学校入学 高校無償化法 東日本大震災
- 23年度 2年 FIFA女子サッカーワールドカップ 日本初優勝
- 24年度 3年 スカイツリー開業 ロンドン五輪



<http://advance.teiju.or.jp>

しまね学生登録は、  
島根県内の就職をサポートします！

つながろう三高  
つながろう雲南

### 如己愛人

卒業する皆さんへ

世界に羽ばたくことが、  
地元を去ることには直結  
しない時代となった。山  
陰では、倉吉市に本社を  
構えるハンドバッグ製造販売のバ  
ルコスもその好例だ。雲南圏域の  
中小企業の中には、立地条件に決  
して恵まれなかった分だけ、国内  
向け生産よりも輸出依存型の企業  
も見られる。地域産業研究や課題  
研究、事業所訪問を通じて認識し  
た生徒もいることだろう。時代の  
流れを敏感に察知して、常に新た  
な対応が迫られるが、それは都会  
地も地方もかわらない。すでに妥  
結したTPP(環太平洋連携協定)  
への対応も含めて、好むと好まざ  
るとにかかわらず、グローバル社  
会の中で乗り遅れないことが求め  
られる。成長するためには一定の  
変化を受け入れなければならない。  
変化のない現状維持の成長はない。  
人も地域も同じだ。だからこそ、  
少子高齢化がすすむ現代において、  
若者のダイナミックな発想と行動  
力が求められる。皆さんが想像す  
る以上に、地域は皆さんに大きな  
期待を寄せている。三刀屋高校総  
合学科3年間のキャリア教育を通  
じて、そのことを実感できたので  
はないだろうか。▼早や10期生が巣  
立つことになった三刀屋高校総合  
学科は、徐々に地域とのかかわり  
をエネルギーにできるようになっ  
てきた。今後は、その燃焼効率を  
高める一層の仕組み作りが求めら  
れる。高校からの地元就職率は高  
いが、上級学校進学者の地元就職  
率を高める環境づくりと働きかけ  
が急務とも感じられる。まずは  
「しまね学生登録」もその一助と  
してもらいたい。  
(編集長記)

全国とつながる三高 全国とつながる三高 全国とつながる三高 全国とつながる三高 全国とつながる三高 全国とつながる三高

「声援とご協力を  
お願いします」



今年の夏のインターハイは中国5県で開催します。  
さくらおろち湖(尾原ダム湖)ではボート競技を開催します

# 健闘を祈ります! 全国選抜大会



ソフトボール

## 女子 7年連続13回目 (千葉県成田市) 3月18日(金)~22日(火) 初戦は19日対星野(埼玉)

- |                 |            |
|-----------------|------------|
| 顧問<br>三嶋 広 (監督) | 板倉 知香 (2年) |
| 米田 大祐           | 加藤 千佳 (2年) |
| ▼部員             | 小林 大子 (2年) |
| 木次 美雪 (2年)      | 永見日奈子 (2年) |
| 田島 実侑 (2年)      | 難波 夏里 (2年) |
| 周藤 蘭 (2年)       | 難波 紫 (1年)  |
| 内藤 舞 (2年)       | 塚本 有香 (1年) |
| 山根 七海 (2年)      | 妹尾ほたる (1年) |
| 青木真衣子 (2年)      | 野津 日和 (1年) |
|                 | 山本 早季 (1年) |

女子ソフトボール部は、10月末の島根県高校新人戦で決勝戦も完封コールド勝ちする圧勝で、7年連続13回目の全国選抜大会出場を決めた。初戦の相手は全国優勝の経験もある強豪校だが、ミスを抑え勝機を手繰り寄せたい。

## 男子 2年振り15回目 3月19日(土)~22日(火) (静岡県富士宮市) 初戦は21日対星陵(静岡)と盛岡中央(岩手)の勝者

- |                  |            |
|------------------|------------|
| 顧問<br>駿馬 敦史 (監督) | 長谷川 丞 (1年) |
| 長岡 将司            | 落合 雄大 (1年) |
| ▼部員              | 陶山 凌雅 (1年) |
| 梶田 啓悟 (2年)       | 永瀬 開斗 (1年) |
| 藤原 弘明 (2年)       | 飯塚 成希 (1年) |
| 飯塚 柁樹 (2年)       | 藤原 一樹 (1年) |
| 常松 瑞希 (2年)       | 松村 涼大 (1年) |
| 伊藤 達晃 (2年)       | 細木 悠作 (1年) |
| 田本 泰弘 (2年)       | 渡部 沙彩 (1年) |
|                  | 珠          |

男子ソフトボール部も、秋の島根県高校新人戦で安来高に5回コールド勝ちをおさめ、2年ぶりの全国選抜大会出場を決めた。しばらく全国大会から遠ざかっていたが、自分たちのプレーでまずは一勝を目指す。

少林寺拳法

## 3月25~27日 (香川県善通寺市) 2年連続 (自由単独演武の部) 門脇有紀菜(2年)

覚えていますか

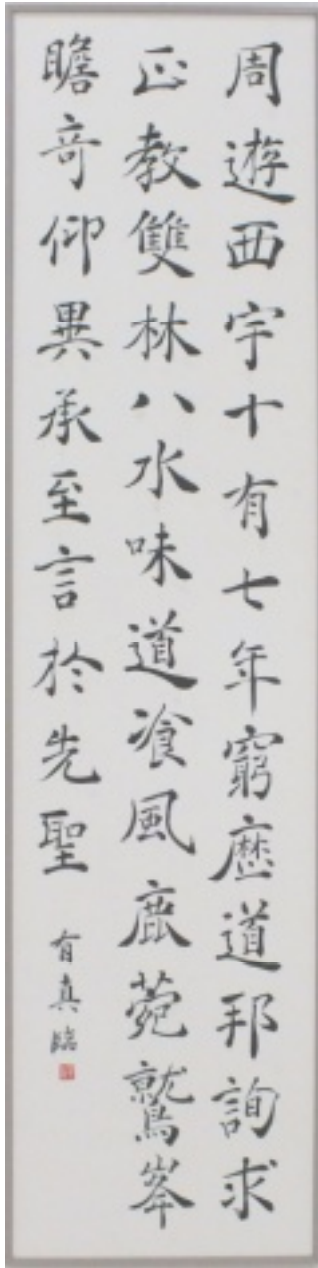


### 荣誉!!

書道

## 妹尾さん(2年)の作品が今度は東京へ

平成27年度全国高等学校総合文化祭滋賀大会書道部門優秀作品展



書道部の妹尾有真さん(2年)の作品が、東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年記念センターで開催された標記優秀作品展で展示された。

妹尾さんの作品は、一昨年秋の島根県高校書道展の審査を経て、昨年夏に滋賀県で開催された全国高等学校総合文化祭に県代表3点の一つとして出品されたもの。今回の東京での優秀作品展には、同文化祭に出品された314点の中から、さらに選抜された73点が出品され、島根県からは妹尾さんの作品1点が選ばれた。

### 全国高等学校総合文化祭 滋賀大会出品(昨年8月) 「雁塔聖教序」

妹尾有真(2年)

「メモ」妹尾さんが手本とした「雁塔聖教序」は、中国唐代の西暦653年に褚遂良が書いたもの。私たちが普段使っている楷書は唐代(618年~907年)に完成されましたが、褚遂

良の「雁塔聖教序」は書の歴史上、最も美しく洗練された楷書とも言われます。妹尾さんの作品は、これを手本としてその一部を縦240cm、横60cmの紙にあらわした臨書です。

※同じ書道部の黒目麻友さん(2年)は、昨秋の県高校書道展の結果、今年の夏に広島県で開催される全国高等学校

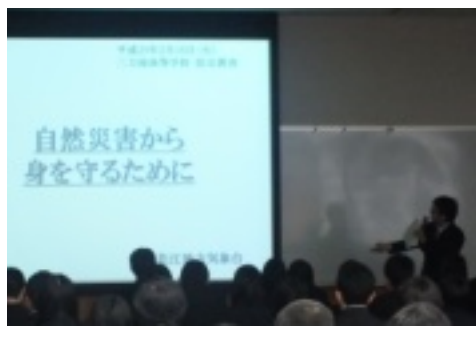
総合文化祭への出品がすでに決定しています。この文化祭への同一校同学年の連続出品は極めて珍しい快挙です。



## 2月22日は「竹島の日」

いわゆる「竹島問題」については地歴・公民科の授業を中心に学習する場面がありますが、2月22日の「竹島の日」を前に、全クラスがHJRでも竹島問題の解決に向けた学習をしました(3年生は出校日に)。

上は、その際に使用した資料の一部です。



## 防災教育

2/16

近年は広島市や栃木県鬼怒川沿いで発生したような豪雨・大規模土砂災害が全国的に多発していることから、自然災害、特に大雨・土砂災害に対する備えを喚起するため、松江気象台から講師をお招きして防災教育を実施した。

冒頭では、島根県の「土砂災害危険箇所」が広島県について全国で2番目に多いことや学校周辺のハザードマップについて紹介され、①避難場所はどこか、②避難ルートは

## 「自然災害から身を守るために」

どこか、③避難ルートに危険箇所はないか、④過去に災害のあった場所はないか、等々

：島根県は先頃、県内3万2千か所あまりの「土砂災害警戒区域」の指定を終えた。この雲南圏域はたたら製鉄を可能とした原料砂鉄を含む風化花崗岩(崩れやすい真砂土)が広く分布しており、河川氾濫とともに土砂災害への備えを自覚しなければならぬ。

なお、雲南市の「土砂災害警戒区域」指定箇所は、県内21市町村で最も多い約3,700箇所。防災ハザードマップで確認すると、本校体育館の

裏手も対象となっている。さらには危険な「特別警戒区域」への指定は、地価の下落や宅地開発の制限につながるとして抵抗感が強く、島根県内の指定は江津市の912箇所のみだ。このような実態を求むこと自体が我々市民にも求められる。防災分野でも一層、雲南市の地域自主組織(小規模多機能自治)のかかわりが必要になってくるのではないだろうか。

(『蒼雲』第101号より)



パソコン同好会

## 周藤さん(1年) 大健闘の予選2位

決勝トーナメントは3月26日(土)くにびきメッセで



予選で使用されたマップ。決勝で使用するマップは当日まで非公開。

高校生まで(高専含む)を対象とする上記プログラミング大会の予選には百組がエントリーし、人数制限なしのグループで参加するチームもある中、パソコン同好会の周藤匠さんが1年生ながらも予選2位通過の快挙を果たした。

3月26日に松江市のくにびきメッセで行われる決勝大会は、予選の上位10組が参加して、トーナメントで優勝を目指す。

【メモ】AI(人工知能)は日進月歩の進化を遂げているが、難易度でチェスや将棋をはるかに上回る囲碁で、米グーグル社が人間のプロ棋士に勝てる人工知能(AI)を開発したとのニュースが年明けに伝えられた。人間の脳のように自ら学習して能力を鍛え、ハンディなしで欧州チャンピオンに5連勝したのは驚きだった。

(人工知能については、本紙2面の3年学年主任多田昌導教諭の「贈る言葉」も参照ください。)



### バレンタインデーを前に チョコっと作りました

家庭 フードデザイン

### 第43回県高校写真展

2/3~8  
島根県立美術館(松江市)  
ご来場ありがとうございます



三高生の作品に見入る来場者

このほか積乱雲や雷、竜巻が近付いた際の個々の注意事項にも触れた上で、松江気象台の菊池祐蔵技術専門官は、「予想がつきにくいことが多くなってきた。日頃から正しい知識と取るべき行動を確認し、自分の身は自分で守れる人間になろう。」と呼びかけた。

◆◆◆◆◆

左の枠内は、本紙第101号/シリーズ『斐伊川今昔物語』第16回「鬼怒川の災害に思う」から抜粋したものです。

明日のしまねを担う高校生キャリア教育推進事業

1

図書館で調べ学習



泉さん(3年)優秀賞

県全体の学校図書館活用教育推進の機運を高めるために県教委が主催する標記コンテストは今年で4回目。図書館を利用する機会も多い公民科の3年選択授業を通

しまね調べ学習プレゼンテーション・コンテスト

県立高校問題解決型学習成果発表会

松江市のくにびきメッセセ多目的ホールを会場に開催された標記発表会では、県内11校各1名の代表生徒が地元企業や地域と連携した問題解決型学習の成果を発表した。本校からは、11月の雲南市教育フェスタでも発表ステージに立った小池なみさん(2年)が、1年間の課題研究の成果を『和服を日本に残していくために』と題し、10分間のプレゼンを行った。なお、2年生は学年末試験後の3月15日に、課題研究のポスターセッションを校内で予定している。

2

地域自主組織との連携

明日のしまねを担う高校生キャリア教育推進事業

【経緯】昨年、みとや世代間交流施設「ほほ笑み」運営協議会(三刀屋地区まちづくり協議会、合同会社エコカレッジ、訪問看護ステーションコミケアで組織)から、「ほほ笑み」を高校でも活用して欲しいとの相談があり、今年度は関連する講演会を開催し、「ほほ笑み」での活動を1年の授業「産業社会と人間」にも組み込むことにした。

「ほほ笑み」での交流スタート



発表会が続きました

総合学科発表会(県内4校)



総合学科を置く県内4高校(三刀屋・松江農林・瀬摩・益田翔陽)の合同発表会が2月10日、大田市農村環境改善センターで開催された。本校2年生を代表して発表会にのぞんだ中林風真さんは、課題研究「『ナノテクノロジー』は生活に良い影響を与えるのか」を発表。1学期から研究を重ね、10月の東京研修では大学と企業を訪問して情報収集する

じて本校も応募し、予選を経て泉晃真さんが島根県教育センターで開催された本選会に出場。「バイオマス発電で環境問題を解決できるのか」と題し、パワーポイントによるプレゼンテーションを行い、優秀賞を獲得した。



プレゼンする泉さん

2月3日、1年生の「産業社会と人間」の時間では2部構成の講演会を実施し、第一部では、ネット古書店を起業して障がい者雇用にも取り組むエコカレッジ社長の尾野寛明さんから、起業や島根で会社を運営するメリット、地域自主組織と連携して世代間交流施設「ほほ笑み」を開設し

た経緯を語っていただいた。続く第2部では尾野さんのほか、三刀屋地区まちづくり協議会の上代眞会長と倉内敦子さん、訪問看護ステーション「コミケア」代表の歌田ちひろさんが加わり、4名のディスカッションで現在に至るまでの経緯や、高校生が地域に学ぶ意義、意見を他者に伝える

方法などについて語っていただいた(写真上)。翌週の2時間は次年度の課題研究に向けた準備作業にあて、生徒の一部はさっそく世代間交流施設「ほほ笑み」を訪問し、訪問看護ステーション「コミケア」の歌田代表からの取組の内容や実態、課題についての話を傾けた。

3月15日(火)



2年「課題研究」発表会 校内ポスターセッション

ご存知ですか?

(三刀屋地区まちづくり協議会)

- ◆みとや世代間交流施設 ほほ笑み
◆就労支援事務所 エコカレッジ
◆訪問看護ステーション コミケア



「ほほ笑み」の倉内さんと地域課題について意見交換する三高生(2/10)

※異業種の三者が同じ屋根の下で共同運営するという、他に例を見ない全国からも注目される施設です。

# 2016 〔三刀屋の新春〕

## 柔道 1/21

雲南警察署で  
合同寒稽古

柔道部が雲南警察署の道場で合同の寒稽古を行った。若手署員を相手に対抗戦も行い、2連勝した石田一伎さん(2年)がMVPを獲得した。



## 卓球

### 第37回三刀屋町卓球大会

旧三刀屋町時代から続く大会に13チームが出場し、三刀屋高校Aが優勝した。

## 卓球

2/7

## サッカー

### 具高校新人戦

▽1回戦  
三刀屋・大東合同  
0・⑧開星  
来年度は単独チームでの出場が期待される。

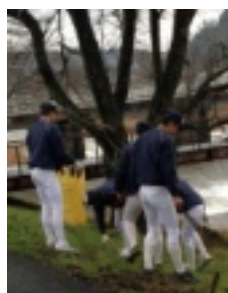
## サッカー

2/6

## 野球

### 春の観光シーズンを前にゴミ拾い

冬場は雑草の背丈も短く、ゴミも目につきやすい時期。1時間ほどの三刀屋川沿いでのボランティア清掃で、4袋分のゴミを拾った。



↑11月第101号



↑7月第97号



↑12月第102号



↑8月第98号

# 『蒼雲』

一面で振り返る  
2015年度



↑4月第94号



↑1月第103号



↑9月第99号



↑5月第95号



↑生徒募集用「学校案内」  
来年度用は1学期末に発行予定です



↑10月第100号



↑6月第96号

オロチ  
つながる雲南  
**コラボで引き出す! 雲南パワー**

雲南地区5校はさまざまな場面でつながります  
三刀屋高校 同掛合分校 大東高校 横田高校 飯南高校

**1 BLACKBOTTOMBRASSBAND LIVE! in雲南**



雲南市加茂文化ホール ラメールで

1/16

**2 2016情熱疾走 中国総体**



**ボート競技開催を告知PR**  
(さくらおろち湖)

1/16

今夏のインターハイ・ボート競技の地元開催を告知するPR活動が、前述の公演が行われた加茂町のラメールで行われた。開演前の受付では、本校生徒5名が来場者にPRグッズを手渡し、さくらおろち湖(尾原ダム湖)での競技開催をPRした。今後は、雲南地区各校の生徒と一緒に、同様の活動を行うこととしている。

**3 「おろち模試」実施**

雲南地区高校1、2年生で難関大学をめざす生徒の進路意識を早期に喚起高揚させることを目的として、「おろち模試」と名付けた英数国3教科の合同模試(各100分)を本校大講義室で実施した。5年ほど前から続く試みで、本校からは1、2年生約120名が参加した。



静寂の中に熱気が伝わる模試合場(本校大講義室)



全員が十七絃演奏は高校生では珍しい

2月7日の日曜日、JR出雲市駅前のビッグハート出雲を会場に、県内5校(松江北・松江南・開星・松徳学院・三刀屋)で活動する箏曲仲間が一堂に会して合同演奏会を開いた。本校箏曲部の8名は、全員が十七絃で「飛天」(水野千鶴作曲)を披露した。また、各校の発表の最後には出雲邦楽合奏団と箏グループ・カヌーの皆さんによるゲスト演奏も行われた。

第14回島根県高文連日本音楽部門成果発表会

2/7

箏曲

新春恒例の合同演奏会

出雲市の島根県立青少年の家(サン・レイク)での1泊2日の標記講習会には出雲地区7校から57名、本校からは13名が参加し、島根デザイン専門学校長の小林照尚先生を講師に、来待石と福光石を使って抽象彫刻を制作した。2日間約10時間をかけ、選んだ石をノミや金槌で根気強く削りながら、バランス良く積み上げて思い思いの形に仕上げた。

美術

(1/28~29、サン・レイク)

高文連出雲地区彫刻講習会およびコンクール



制作風景と作品例



「夜長」高野寛子(2年)

華道

第18回学校華道インターネット花展

今年で18回目を迎えた写真応募による標記花展(池坊華道会主催)には、幼稚園から大学までの約千校から、6694名の力作が寄せられ、本校からも昨年に続いて華道部員2名が出品した。



「新しい季節」上田千浩(2年)





# 三高新时代への胎動

地域でつなぐキャリア教育モデル事業実践校

(平成25~27年度、県教委指定)

シリーズ

## 地域とともに

### 第18回 新シリーズ紹介

#### 「ポストたたら製鉄」の道を铁路建設で拓いた雲南

おことわり…今回は、生徒の活動とは直接関係のない話題で本頁を構成させていただきました。

国鉄時代の木次線は、赤字ローカル線として一時は廃止リストに入っていたが、当時は沿線の道路整備が進んでおらず、代行バスも運行しにくい状況から存続となった。そして今、三江線の存続問題を対岸の火事と傍観する限り、木次線の存続問題が突如浮上する懸念は拭えない。いたずらに不安をあおるつもりはないが、利用客増として、ただ単に地元住民の通勤・通学利用の拡大を求めても効果は薄いだらう。道路環境の改善と少子化で、高校生の通学利用増にも限界がある。地元紙によると、トロッコ列車「奥出雲おろち号」も車体の老朽化で平成30年以降の運行は未定という。いずれにしても、新シリーズでは現状を正しく認識し、木次線の将来を考える材料を提供できればと考える。(次号からは、従来からのシリーズ「斐伊川今昔物語」と新シリーズ「木次線今昔物語」を隔月で掲載します。)



地方主要道安来木次線

(写真は雲南市在住の船木昭二氏提供)

1930年(昭和5年)



現在

#### 昭和50年代以降 生徒数が約半減した今も 三刀屋高校では

#### 木次線利用通学生は減っていません

モータリゼーションの進展・道路事情の改善を背景に、下の表の通り、寮生や下宿生が激減する一方で、現在では木次線を利用した自宅からの遠距離通学生が増えている。自宅と最寄りの駅の間を、家族が送迎する例が多くなったのも遠距離通学を多くした理由と推測される。寮生・下宿生が帰省するために木次線を利用する数は大幅に減ったにしても、三高生にとって木次線は今も大切な通学手段だ。

	全校生徒	寮・下宿	汽車通学	汽車通学の割合
1969 昭和44年	831人	135人	51人	6.1%
1979 昭和54年	808人	140人	28人	3.5%
1989 平成元年	761人	86人	15人	2.0%
2015 平成27年	442人	15人	44人	10.0%

【参考】奥出雲町の県立横田高校は、今年度全校生徒の約4割108名が木次線を利用している。一方、県立島根中央高校の三江線利用通学生は今年度7名。

(上の表、【参考】ともに各校の学校要覧をもとに記述)

#### 道を拓く

### 木次線今昔物語



JR木次線に愛着を持ち応援したくなる新シリーズ

第1回

たたら製鉄の後を担った铁路

JR木次駅前では斐伊川に合流する久野川沿いに、連坦地を南下する木次線は次の日登駅を通過してまもなく、初めて久野川を渡る。写真は昭和5年の第一久野川橋梁の建設現場で、難工事が続いた仁多郡境への玄関口に位置する。写真に見える地方主要道安来木次線は、手前の奥出雲町方面が「樋の谷」越えの道に至る。仁多郡と雲南の商都木次を結ぶ陸路の大動脈だったが、今もヘアピンカーブが続く「樋の谷」の道は、物資輸送

の難所でもあった。前号でも紹介したとおり、大正末に奥出雲でのたたら製鉄の灯が消えるのと前後して、「ポストたたら」、たたら製鉄に代わる収入の道を木炭や米、和牛に託し、その輸送・販路拡大のために急がれたのが铁路建設だった。現場の作業を実際に担った多くは地元住民であり、写真の橋梁建設工事では木製の高い足場での危険な作業が続いた。数か所の久野川橋梁建設の先では高低差55m木次線最長2241mの下久野トンネルの難工事が行われ、尊い命の犠牲の上に完成。1934年(昭和9年)、出雲三成駅までの区間が開通した。



昨年の吹奏楽部第24回定期演奏会

三刀屋高校文化部  
近隣中学校合同作品展 ※ラメール1階ロビー

吹奏楽部 第25回定期演奏会  
開場/13時半  
開演/14時  
管楽器部もゲスト出演

会場は雲南市加茂文化ホール ラメール

三高生も嬉しい! **花** 地域創造大賞  
総務大臣賞受賞

地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに、特に功績のあった公立文化施設に贈られる上記の賞をラメールが受賞され、1月に東京で表彰式がありました。

JR木次駅前のショッピングセンター  
旧「サン・チェリヴァ」の新しい名称  
高校生の投票結果を参考に

「マルシェリーズ」に決定!

【名称の意味】みんなが集う市場「マルシェ」と、さくら並木「スリーズ」(フランス語)を合わせた造語です。さくら並木のそばに立つ施設に、買い物に来られた方だけでなく、大人も子どももみんなが立ち寄れるような総合コミュニティ施設になって欲しいという思いが込められています。

旧ショッピングセンターサン・チェリヴァ名称検討委員会(委員長:藤井勤雲南市副市長)の依頼を受け、昨年12月に三刀屋高校、同掛合分校、大東高校の三校の生徒が、六つの名称候補の中から選んで投票。その結果をもとに、検討委員会がテナント事業者の意見も参考にして、新名称が「マルシェリーズ」に決定されました。あわせて、ロゴマーク(上)も



を呼ぶ定期演奏会 & 文化部合同展も

第18回三刀屋高校文化部・近隣中学校合同作品展

日	曜	学校行事等	部活等
1	火	卒業式準備・予行 壮行式 同窓会入会式 PTA会報発行	
2	水	卒業式	
3	木	2年進研M模試・就職・公務員がイダソ	
4	金	2年進研M・就職・公務員模試	
5	土	土曜補習・学校開放	
6	日		
7	月	高校入試会場準備6限~	
8	火	高校入試・公立大学中期日程試験	
9	水	特別休業日	
10	木	1・2年スタディサポート 桐原小論文模試	
11	金	6限授業	
12	土	国公立大学後期日程試験	陸上
13	日		
14	月		
15	火	2年課題研究発表会 第2回PTA進路指導委員会 第3回学校評議員会	
16	水		
17	木	医療系進路説明会(希望者)	
18	金	高校入試合格発表	
19	土		↑女子ソフトボール
20	日		吹奏楽部定演 文化部合同展
21	月	春分の日	
22	火	新2・3年用教科書販売	
23	水		↓男子ソフトボール
24	木	終業式・離任式・合格体験を語る会	
25	金	入学前説明会	
26	土		↑
27	日		少林寺拳法
28	月		
29	火		
30	水		
31	木		



日	曜	学校行事等	部活等
1	金		
2	土		
3	日		
4	月		
5	火		
6	水		
7	木		
8	金	新任式・始業式	
9	土	入学式・対面式・入寮式	
10	日		
11	月	4月9日の代休日	



制作されました。

<メモ> … 三刀屋高校文化部も度々お世話になる「チェリヴァホール」は現在も開館中です。なお、「チェリヴァホール」「ラメール」をはじめ、雲南市内の主要文化・体育施設は株式会社キラキラ雲南が管理運営しています。



# いつでも帰って来い来い きみの故郷へ いつかは帰って来い来い きみの故郷へ

志を果たして  
いつの日にか帰らん  
山はあおきふるさと  
水は清きふるさと  
—「ふるさと」三春—

三刀屋高校

グローバル(グローバル&ローカル)世界に挑む三高生!  
卒業後は…  
大志を抱いて全国へ、そして世界へ羽ばたくもよし!  
けれど…  
青春時代を育んだ雲南への熱い思いを忘れないで!!

雲南市三刀屋町給下の峯寺遊山荘より三刀屋文化体育館アスパル、三刀屋高校方面を遠望

## 今年もこの季節に、鎮魂の日 3.11 を迎える

いつになったら帰ることができるのか分らない人たちがいる  
帰る場所を失くした人たちがいる

三刀屋高校

いつでも帰ることのできる仲間のいる故郷がある  
みんなの故郷が いつまでも そうあって欲しいと願う

三刀屋城址より三刀屋川・国道54号線沿いをのぞむ

**三刀屋**

三高日誌  
平成28年  
3月2日

卒業生代表  
古田 夏帆

いよいよ旅立ちの時です

大切さを学ぶことができました。

学年が進むにつれ、将来の進路を本格的に決めていくようになりました。3年次の県総

体後はクラスも完全に受験モードに切り替わる中、自分たちは夏の全国大会に向かって部活動を継続し、正直焦

ることもありましたが、そんな時に、近くには相談のつてくれる友達

達がいて、助けられました。部活動だけでなく、そんな友達との出会いがあったからこそ、成長できた3年間だと思

います。高校3年間の出会いや経験は、今後の人生の大きな糧であり、宝

物となりました。私はそう思います。さまざま

なことを乗り越え成長し、3年間学校に通い続けられたのも家族、

友達、先生、地域の方々等、たくさんの方々の支えがあったからと、

本当に感謝しています。その気持ちを忘れず、期待に応えられるよう、新しい生活も頑張っていこうと思

います。私たち164名の未来が輝くことを願って。

私たちは164名は、いよいよ卒業の日を迎えることになりました。私にとつて、この3年間はとても早いものでしたが、たくさんの思い出がよみがえります。私は女子ソフトボール部に所属し、全国大会という大きな舞台に何度も立つことができました。学年が重なるにつれてプレッシャーも大きくなり、何度も押しつぶされそうになりましたが、ともに頑張ってきた仲間を支えられて最後までやりきることができました。大きな目標の達成に向かって、毎日ご指導をいただいた顧問の先生、応援してくれた家族には感謝の気持ちでいっぱいです。苦しいこともありましたが、振り返ってみると、良い思い出が次々と浮かんでいきます。部活動を通し、同じ大きな目標に向かって仲間と一緒に成長していくこと